

崇城大芸術学部教員ら「私たちの仕事展」

14人がリレー形式で1年間

崇城大芸術学部の教員らによるリレー作品展「私たちの仕事展」が、9月1日から約1年間、熊本市中央区花畑町の同大ギャラリーで開かれる。美術学科とデザイン学科の計14人が個展形式で、研究者や作家としての仕事を工夫を凝らして紹介する。

同学部では、学科展などで学生と一緒に教員が出品することはあったが、教員展は初めて。2週間～1カ月の期間、作品展や実演などを交代で催し、美術やデザインの面白さを伝える。

トップバッターは、フレスコ画を手掛ける美術学科の有田巧教授（白日会会員）。今回は大作など約20点を展示する。9月29日まで。会期中の関連イベントは次の通り。

▽ライブペインティング（4日午後2時半～）▽動く人のデッサン（5日午前11時～、クロッキー帳持参なら参加自由）▽フレスコ画の実演（10・11・24日の午前10時半～）。同市東区のなかお画廊で小品展（18～25日）も。（中原功一朗）